

紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトの取組状況について

令和6年大河ドラマ「光る君へ」の放映を契機に、宇治の歴史・文化・観光の魅力を発信する「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の取組状況を報告します。

記

1 キービジュアル、ロゴマーク

京都アニメーションと連携した「紫式部ゆかりのまち」としての魅力発信の象徴となるキービジュアル、ロゴマークを作成しました。

(今後の活用)

ポスター、のぼり、ホームページ、ノベルティグッズなどの啓発や、紫式部ゆかりのまち宇治推進プラットフォームを構成する観光関係者、地元商店街、寺社などの取組にも活用します。

2 宇治市・越前市・大津市3市連携共同ホームページの公開

令和6年大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機として、紫式部ゆかりの地である宇治市、越前市、大津市の3市が連携し、情報発信することで、3市への相互的な誘客促進及び地域振興を図ることを目的とします。

運用開始日時：令和5年11月15日（水） 午後1時

U R L：<https://murasakishikibu-kanko.jp>

運用について：

- ・紫式部と平安時代についての紹介、3市の紫式部とのゆかりや見どころ紹介などを行っています。
- ・各市及び協議会が実施していく様々な取り組みについての情報を随時更新していきます。
- ・今後、3市を周遊するイベントの情報について、掲載を予定しています。

3 「大河ドラマ展」の実施について

名 称：光る君へ 宇治 大河ドラマ展

～ 都のたつみ 道長が築いたまち ～

主 催：宇治市

期間等：令和6年3月11日（月）～令和7年1月13日（月・祝）

午前9時から午後5時まで

会 場：お茶と宇治のまち歴史公園 交流館「茶づな」

入館料：大人 500円

令和5年12月から前売り（400円）発売開始予定です。

詳細は近日中に決定します。

4 その他の取組

「源氏ろまん2023」事業や「紫式部ゆかりのまち宇治推進プラットフォーム会議」での取組など、「“ほんまもん”の素晴らしさを伝える」「源氏物語の世界を伝える」「ゆかりの地との連携」の3つを柱に、市民及び観光客に宇治の歴史・文化・観光の魅力を発信する取組を実施しています。



【担当ディレクターのコメント（京都アニメーション）】

時間が流れてもかわらない上流の景色を見せつつ、宇治橋を行き来する色々な時代の人物を描いています。
頂いた資料を見た時、今も現代に根付いている歴史の物語を感じました。

宇治にゆかりの深い菟と鳳凰をキャラクター化。

宇治橋に「過去の空」と紙吹雪による「時代の彩（いろどり）」を反映させています。宇治市に遊びに来た観光客の方々が宇治の物語の中に入り込んで歩くイメージを描いています。



【コンセプト】

宇治はかつて菟道と書いて“うじ”と読んでいたといわれており、ウサギはこの地域と縁が深い動物です。

また、宇治川とそこに架かる宇治橋は、まちの長い歴史を象徴する場所で、古くから交通の要衝として栄えた宇治を表現しています。

市の木であるイロハモミジが舞い、十二単に代表される平安時代の華やかで豊かな色彩を表しています。

うじには物語がある

【コンセプト】

源氏物語の舞台でもある宇治は、様々な時代の要素が重層的に積み重なって形作られ、過去から未来への物語が流れるまちです。

先人たちが見た景色が今も残る宇治川の流れを見ながら、歴史や文化を感じ、宇治の物語に思いを馳せていただけるのではと考えています。

キャッチコピーのデザインには宇治橋のモチーフを取り入れています。



【コンセプト】

紫式部が記した源氏物語は全54帖の長編からなり、最後の十帖は「宇治十帖」と呼ばれています。

十二単の豊かな色彩を表現しています。